



新しく休憩のできる車両の設置について

鉄道博物館では、お客さまの休憩やお弁当を食べるスペースとしてご利用いただくため、新たにヒストリーゾーン南側屋外に房総方面等で使用していた特急形車両4両を設置いたしました。8月1日からご利用開始いたしますので、車窓から屋外を眺めながら懐かしい特急形車両の感触をお楽しみください。

利用開始日 2008年8月1日(金)

設置車両 183系2両(先頭車両)
189系2両(中間車両) 計4両

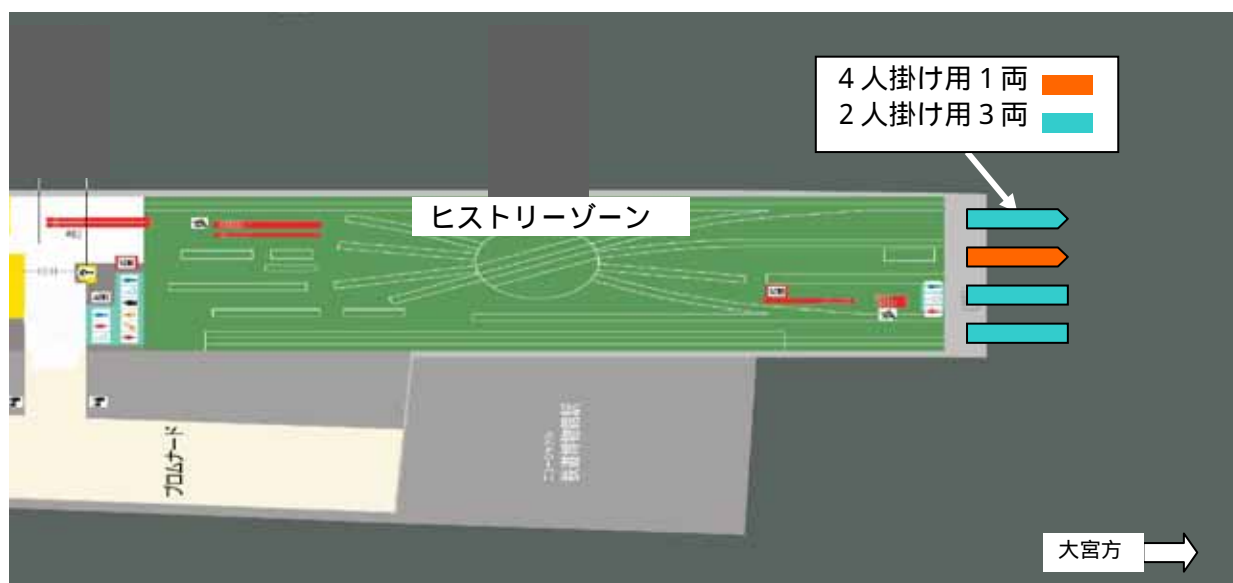
【参考】

183系電車は1972年(昭和47年頃)から運用を開始し、特急「あずさ」「さざなみ」等の名称で中央本線や房総方面で活躍しました。189系電車は信越本線の碓氷峠越え用の車両として、1975年(昭和50年)から特急「あさま」に運用されました。車窓からの風景を楽しめるよう床が一段高いハイデッカー車両となっています。今回そのうちの4両が使命を終えることとなり、鉄道博物館に収蔵されることとなりました。



設置場所 ヒストリーゾーン南側屋外(下記図参照)

その他 8月1日からヒストリーゾーン内の展示車両3両(485系電車2両、455系電車1両)の車内での飲食はできなくなります。



【リリースに関する問合せ先】

鉄道博物館 営業部(広報担当:松河、大野)

TEL:048-651-0088

FAX:048-651-0570